

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大学生インターンシップと連携した、地域を盛り上げる音楽フェスイベント「別所温泉」実施
事業主体 (連絡先)	別所温泉旅館組合 0268-38-2020
事業区分	ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,180,600円 (うち支援金: 2,264,000円)

事業内容

○学生インターンシップ活動

長野出身であったり地域活性化に興味のある大学生4名が協力して別所温泉のイベントに対して協力し合い、また旅館組合と多くの意見を交わしながら活動を行った。

- ・8/4(火)：役員や観光協会・自治会メンバー他との顔合わせを行い自己紹介と打ち合わせを実施。また歓迎会としてバーベキューを行い、懇親と当事者意識を高めた
- ・8/11(火)：旅館組合定例会参加。組合役員会同様に役員以外全旅館のメンバーとの顔合わせを行った。自己紹介や組合の事業を聞きながら別所温泉についての理解を深めた。
- ・8/8～26 定期的集まりイベント実施内容やブース出展アイデア、設営の確認や宣伝を行った。
- ・8/13～16 旅館組合盆踊りイベント参加イベントにて日本酒の試飲会をするなど協力。接客や音楽イベント告知も行った。
- ・8/20(土)、21(日)：別所温泉当日運営協力、学生ブース運営他
- ・8/22(月)：別所温泉片付け
- ・8/27(木)：成果報告会。旅館組合役員が参加し、イベントの反省点や課題などを話し合った。



【会議等学生の活動風景】



【音楽イベントでの学生のブース】



【8/19 信濃毎日新聞掲載 学生がモデルに】

○音楽イベント<別所温泉>

8月のお盆を境に客足は少し落ち始め、同時期の盆踊りを境に地元の間はイベントへの参加も滞り気温も少し下がる中、夏の終わりをまだ盛り上げようと立ち上がった企画が同イベントである。旅館組合主催であるが、住民・観光客・近隣地域の来場者を別所温泉に誘致し、お寺参りや温泉だけでなく違った魅力を違ったアプローチで伝えるイベントとして実施。去年に引き続き前夜祭、当日の2日



【イベント宣伝物 Tシャツ (上) うちわ (右)】

間開催で別所温泉らしさを出すため北向観音境内を活用し、別所温泉全体を地域と宿泊客を巻き込むイベントを目指した。

地元の名物を販売する屋台を中心に音楽だけでなくパフォーマーや参加型内容も盛り込んだ。

より地域住民や参加者の一体感をだすべくTシャツをユニフォームとして着用できるように促し宣伝や協力、告知に力を注いだ。



【イベントポスター】

地元の名物を販売する屋台を中心に滞在型にし音楽だけでなくパフォーマーや参加型内容も盛り込むことで、幅広い客層を誘致すべくお子様向けイベントや家族でも楽しめる内容を吟味し、時間帯にも気を配って演奏してもらうことで多くのお客様に楽しんでもらえる内容となった。また大河ドラマ真田丸に合わせ多くのアーティストが真田のテーマを演奏したり、真田の甲冑試着体験、媒体は赤を用いるなど関係性ももたせた。上田電鉄や信州観光バスなど二次交通や関連会社と連携し、自治会や公民館活動とも協力することで地元全体を巻き込めるようにした。任意団体である旅館組合主催であったためなかなか宣伝活動や準備に時間をさけない部分を大学生との協力で実施ができた。



【イベントの様子】

【目標・ねらい】

- ①地域全体の多くの団体と連携を図る
- ②前年よりも集客し特に地元住民参加を促す
- ③インターン学生との活動を通じた地域活性化の啓発やアイディアの実施
- ④地域や観光事業者に対する観光イベントの意識向上

事業効果

※自己評価 **【B】**

【理由】

予定していたイベントが滞りなく実施でき、音楽だけでなく屋台やパフォーマンスと内容に厚みがでて、集客も昨年を上回った。インターン学生が参加することで我々よりも機動力的な宣伝や積極的に動くことで普段参加しない地域住民の参加と啓発ができた。多くの自治会や観光協会加盟店からも好評であった。しかしながらイベントの時間が少し伸びてしまい時間通りに終わらなかったり時間により客足が少ない時間もあったので今後はもっと多くの参加者が出るよう工夫をしたい。